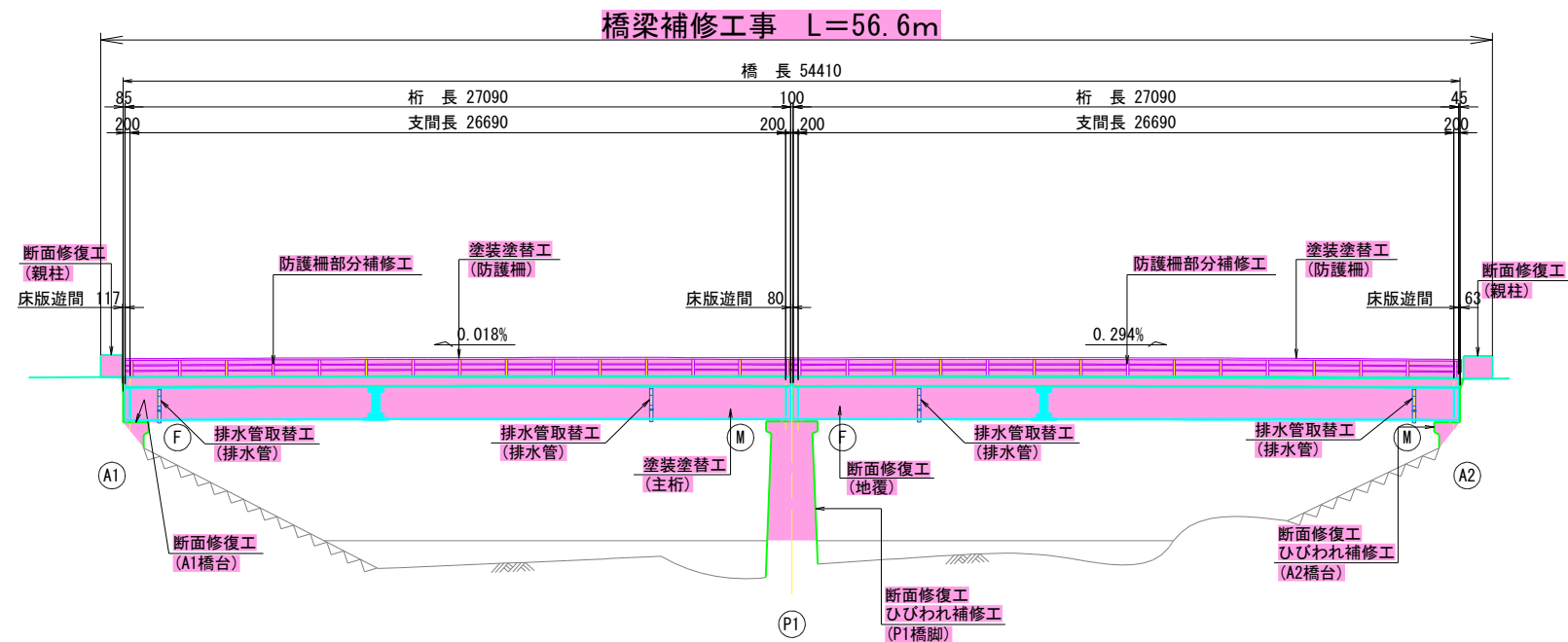
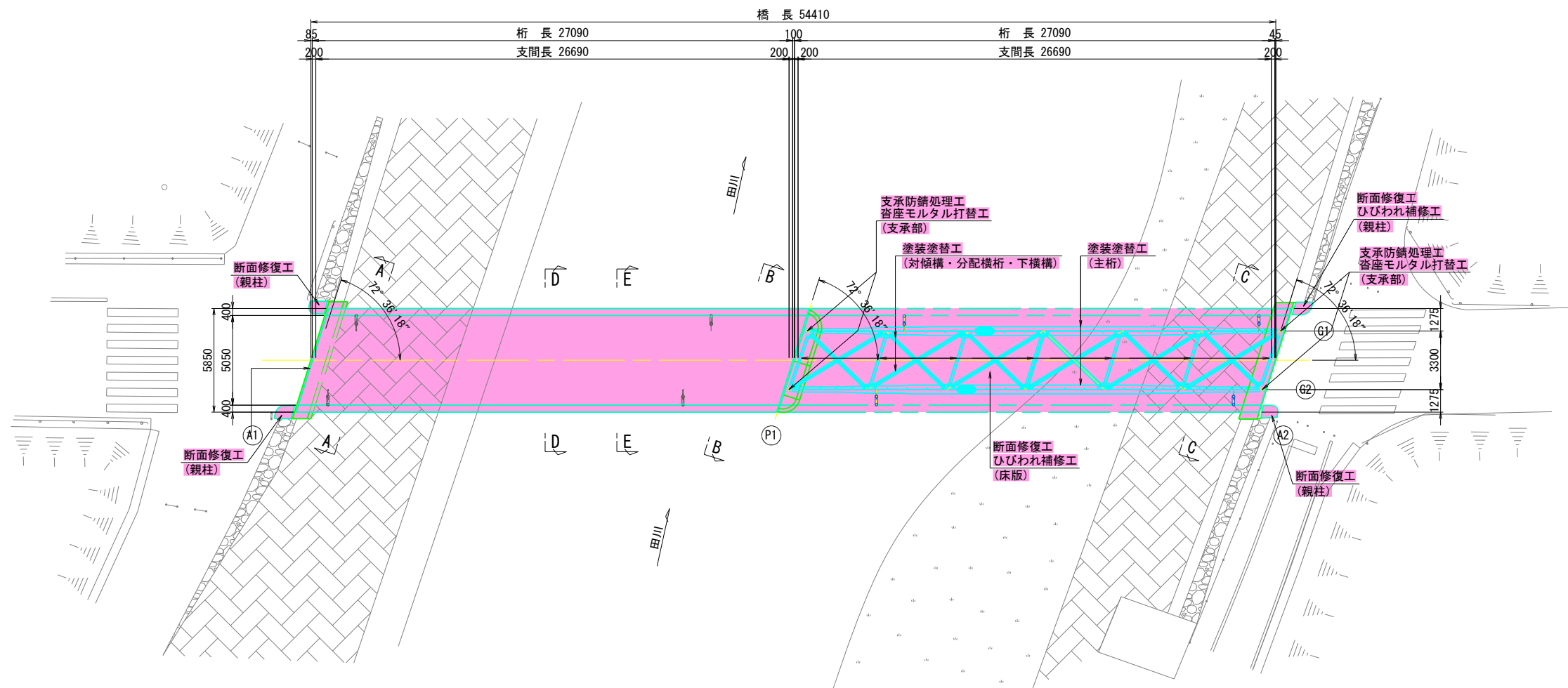


補修一般図(その1) S=1:150

側面図 S=1:150



平面図 S=1:150



〈注記〉

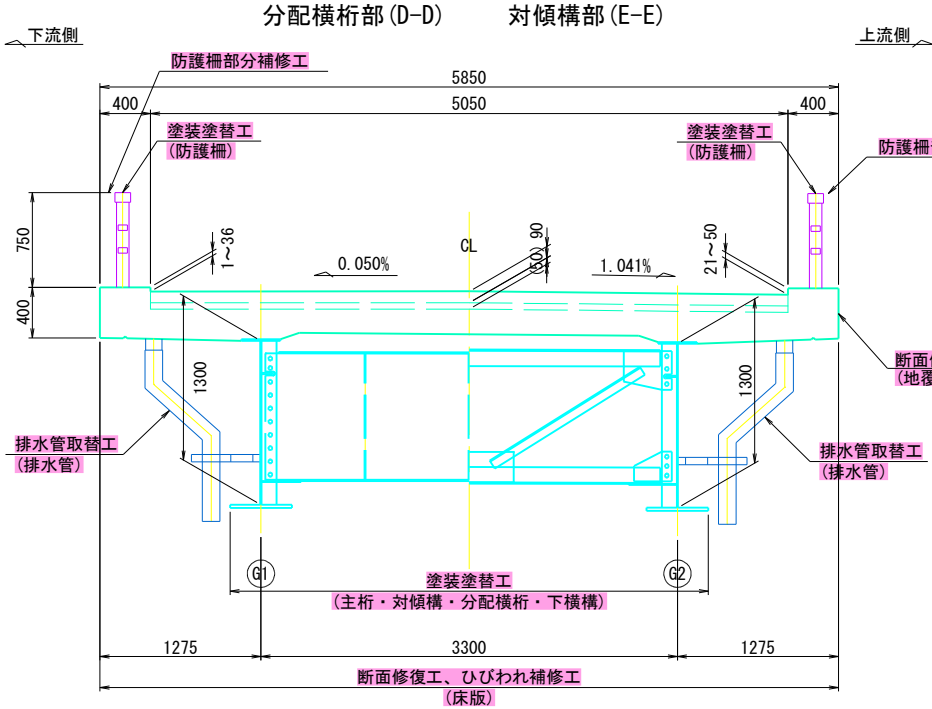
1. 本図面は、現地計測結果を基に復元したものである。
施工に当たっては現地を確認し、必要に応じて寸法計測を実施すること。

〈中落合橋〉 **実施**

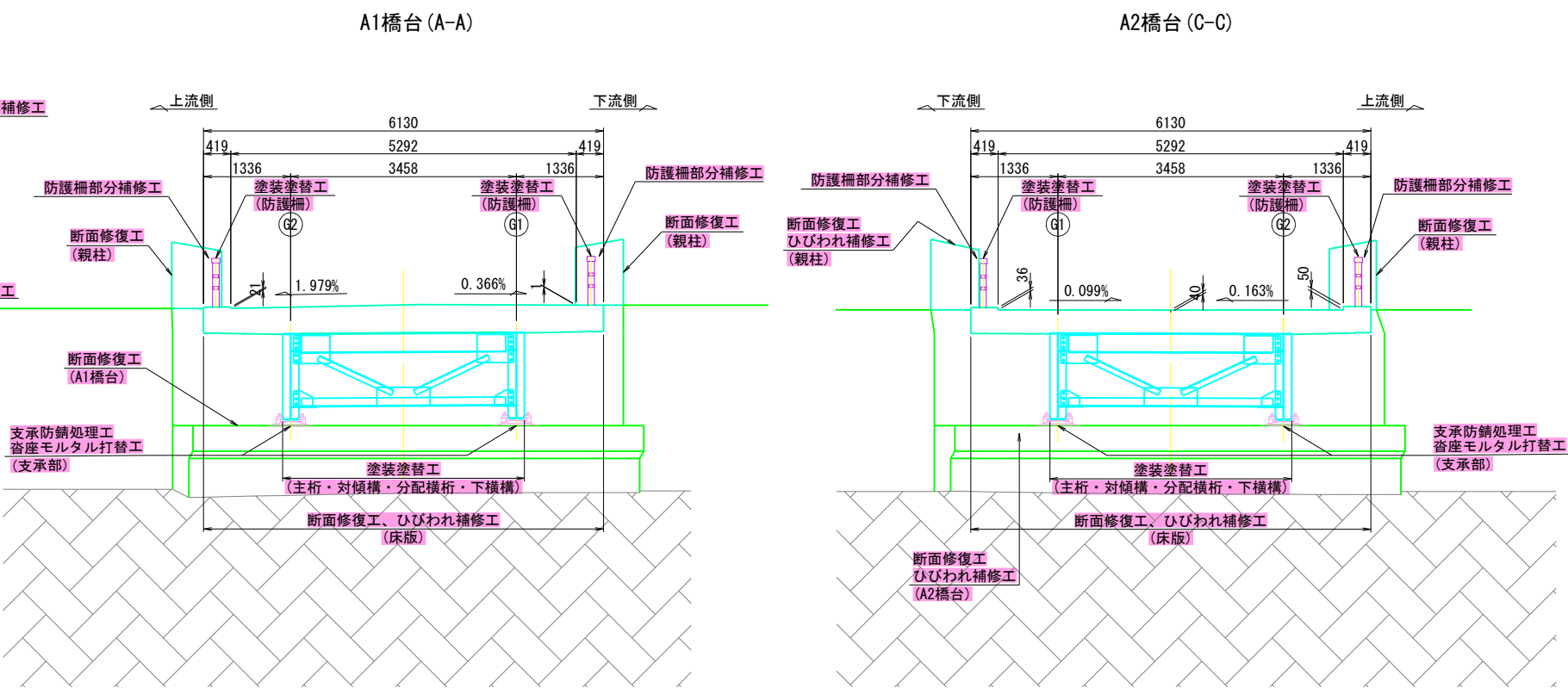
工事名	橋梁補修工事		
図面名	補修一般図(その1)		
作成年月日			
縮尺	1:150	図面番号	1 / 19
会社名			
事業者名	上三川町 都市建設課		

補修一般図(その2)

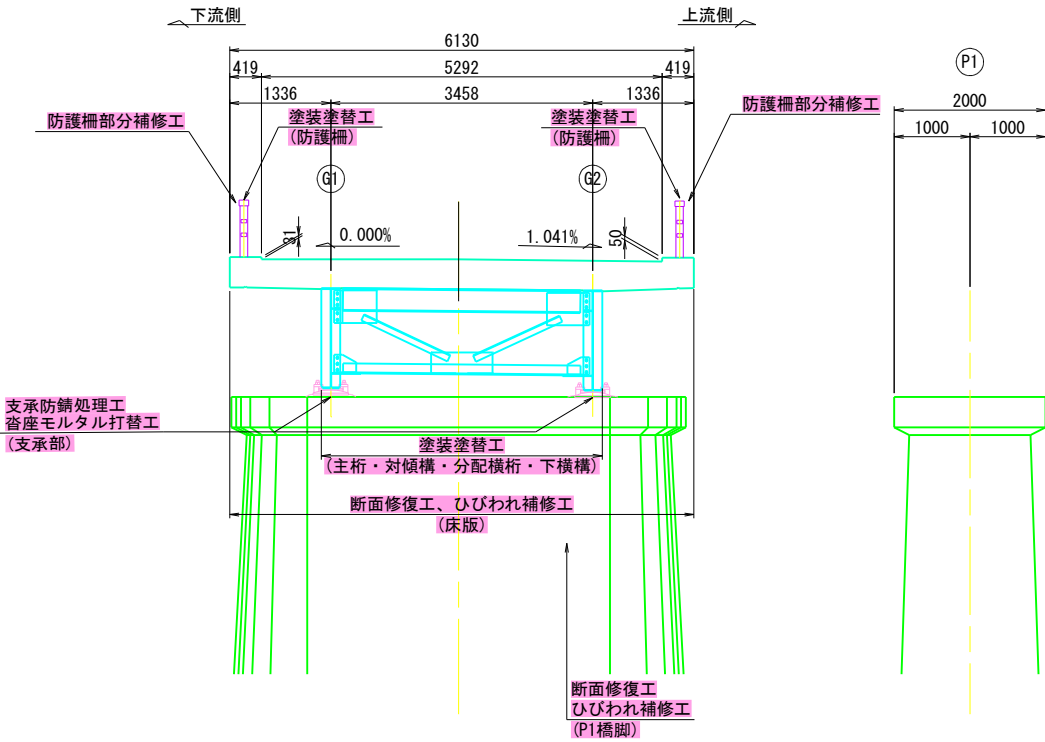
標準断面図 S=1:30



下部工正面図 S=1:50



P1橋脚 (B-B)



＜注記＞
1. 本図面は、現地計測結果を基に復元したものである。
施工に当たっては現地を確認し、必要に応じて寸法計測を実施すること。
2. 舗装厚は、平均値を採用している。

補修対策一覧

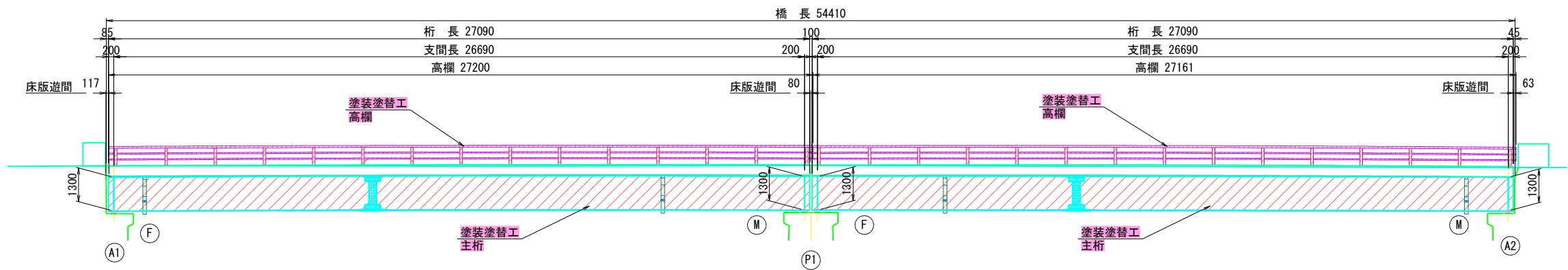
対策工	
塗装塗替工	主桁・対傾構・分配横桁・下横構・防護柵
支承防錆処理工	支承部
ひびわれ補修工	床版・親柱 (A2下流側)・P1橋脚・A2橋台
断面修復工	床版・地覆・親柱・A1橋台・P1橋脚・A2橋台
省座モルタル打替工	支承部
伸縮装置取替工	A1・P1・A2
舗装打換え工+床版防水工	A1～A2
舗装打換え工	A1取付部・A2取付部
区画線工	A1～A2・A1取付部・A2取付部
防護柵部分補修工	一部横棧橋：下流側・上流側
防護柵嵩上げ工	下流側・上流側
排水管取替工	排水管

＜中落合橋＞ 実施

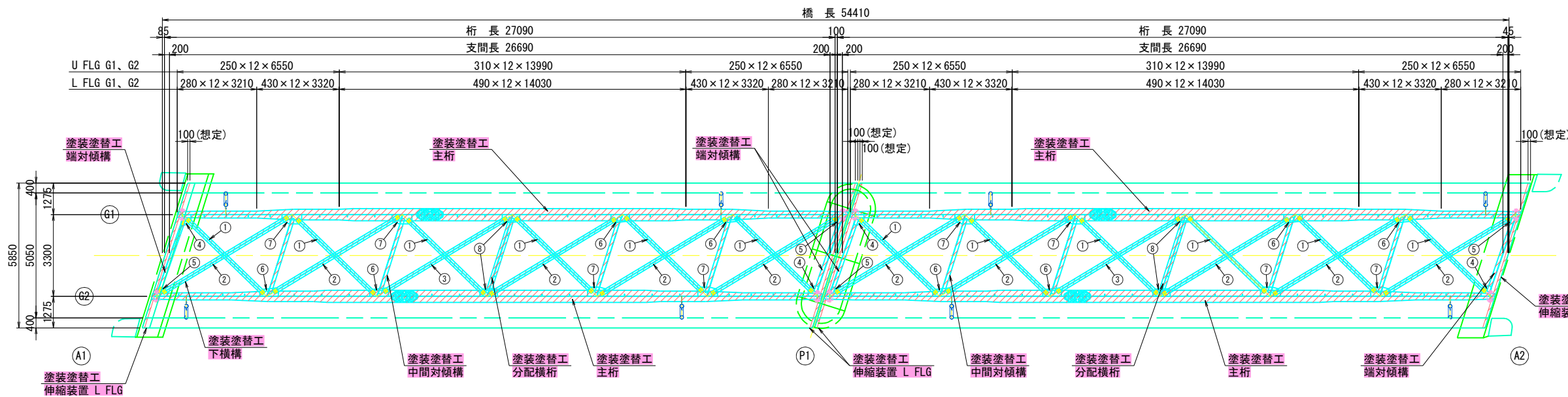
工事名	橋梁補修工事		
図面名	補修一般図(その2)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	2 / 19
会社名			
事業者名	上三川町 都市建設課		

塗装塗替図(その1) S=1:100

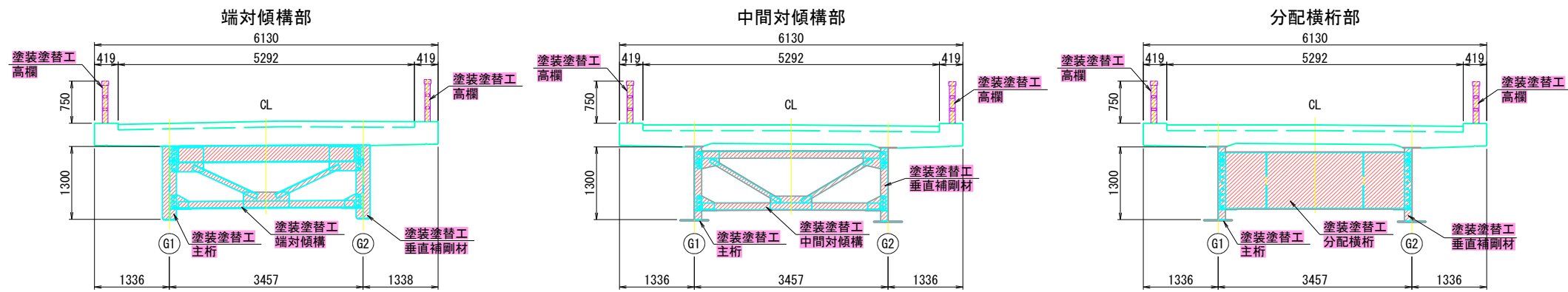
側面図



平面図



断面図 S=1:50



主桁塗替え材料
〈G1桁, G2桁〉 1主桁当り

- 1 - WEB PL 1300×20790
- 2 - U.FLG PL 250×6550
- 1 - U.FLG PL 310×13990
- 2 - L.FLG PL 280×3210
- 2 - L.FLG PL 430×3320
- 1 - L.FLG PL 490×14030
- 4 - VE. STIFF PL 120×1300
- 25 - V. STIFF PL 120×1300
- 1 - H. STIFF PL 90×27090

高欄塗替え材料 1橋当り

- 2 - □-125×75×27200
- 2 - □-75×45×27200
- 2 - □-75×45×27200
- 2 - □-125×75×27161
- 2 - □-75×45×27161
- 2 - □-75×45×27161
- 60 - □-100×100×675
- 8 - END PL 100×525

下横構塗替え材料 1橋当り

- ① 12 - CT 118×176×8×8×4320
- ② 10 - CT 118×176×8×8×5910
- ③ 2 - CT 118×176×8×8×5780
- ④ 4 - GUSS PL 430×415
- ⑤ 4 - GUSS PL 375×415
- ⑥ 8 - GUSS PL 750×330
- ⑦ 8 - GUSS PL 800×370
- ⑧ 4 - GUSS PL 700×300

伸縮装置塗替え材料 1橋当り

- 4 - L.FLG PL 100×5850

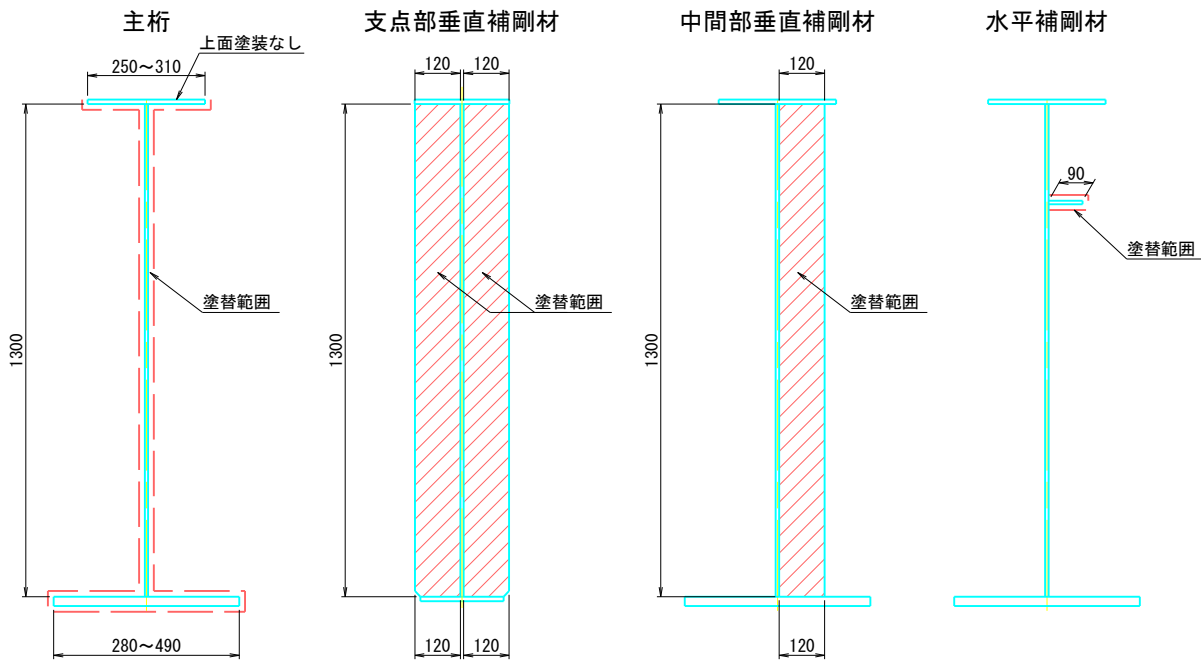
- 注記)
1. 施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び寸法・数量を確認の上行うこと。
 2. 塗装塗替えは錆転換型防食塗装 (NETIS:CB-170003-VR) を想定しているが、同等品以上の性能であれば監督員と協議の上、施工承諾できるものとする。
 3. 塗膜中に基準値を超える有害物質 (鉛, PCB) が含まれているため、塗膜かき落としの際は、旧塗膜の飛散防止、作業員への安全対策を施した上で施工を行うこと。
 4. 部材角部は、面取りが行われていない場合は、半径2R以上の曲面仕上げを行うこと。
 5. 素地調整は1種ケレンとし、残存さびが残らないように十分素地調整を実施し、鋼材面を露出させた上で塗装すること。

〈中落合橋〉 実施

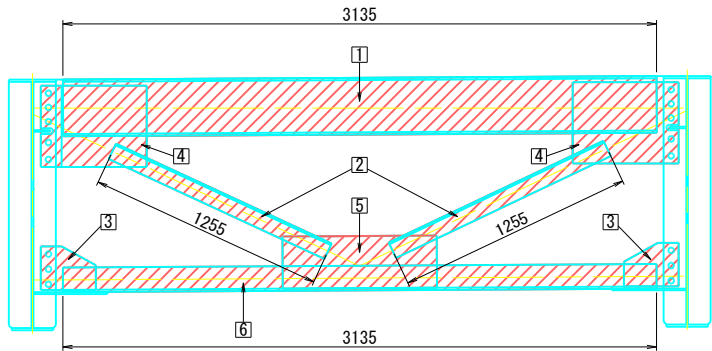
工 事 名	橋梁補修工事		
図 面 名	塗装塗替図(その1)		
作成年月日			
縮 尺	図示	図面番号	3 / 19
会 社 名			
事業者名	上三川町 都市建設課		

塗装塗替図(その2) S=1:100

主桁詳細図 S=1:10



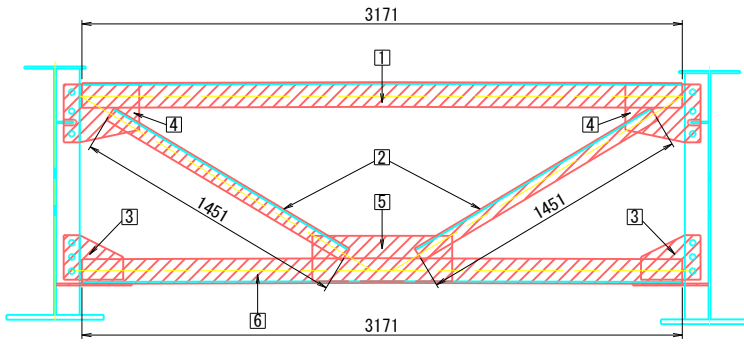
端対傾構



端対傾構塗替え材料

- 1パネル当り(全4パネル)
- ① 1 - [300×90×12×3135
 - ② 2 - L 90×90×10×1255
 - ③ 2 - GUSS PL 290×230
 - ④ 2 - GUSS PL 430×560
 - ⑤ 1 - GUSS PL 275×815
 - ⑥ 1 - L 130×130×12×3135

中間対傾構

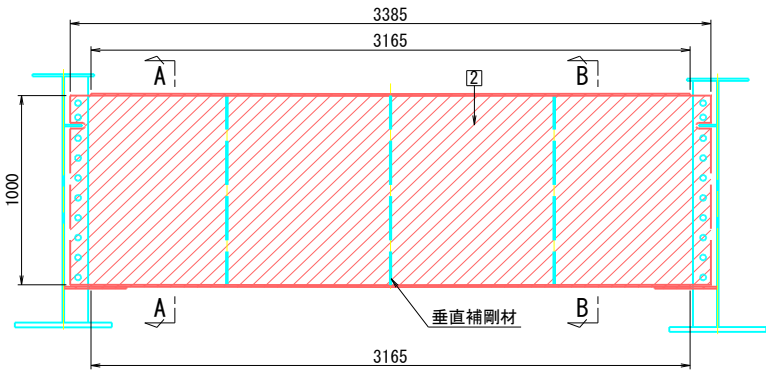


中間対傾構塗替え材料

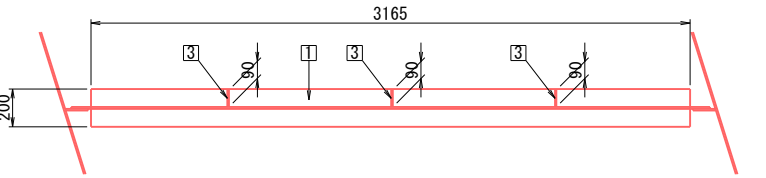
- 1パネル当り(全8パネル)
- ① 1 - L 130×130×9×3171
 - ② 2 - L 75×75×9×1451
 - ③ 2 - GUSS PL 235×315
 - ④ 2 - GUSS PL 305×400
 - ⑤ 1 - GUSS PL 240×740
 - ⑥ 1 - L 130×130×12×3171

分配横桁

側面図



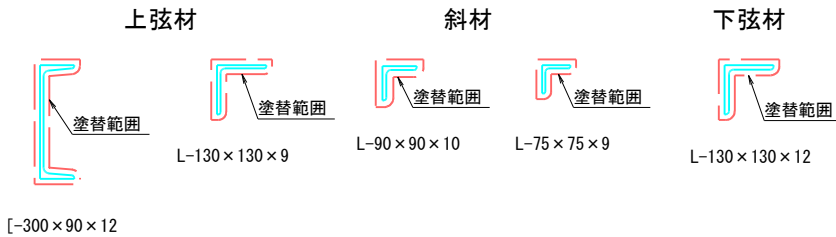
平面図



分配横桁塗替え材料

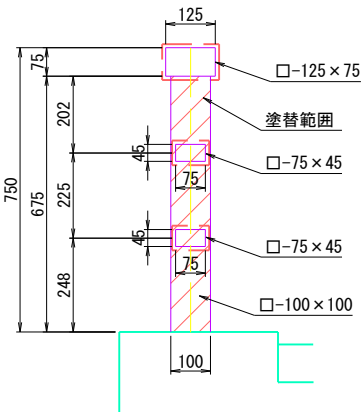
- 1パネル当り(全2パネル)
- ① 2 - PL 200×3165
 - ② 1 - PL 1000×3385
 - ③ 3 - V. STIFF PL 90×1000

端対傾構、中間対傾構詳細図 S=1:10

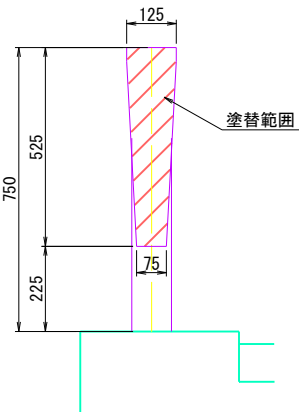


高欄詳細図 S=1:10

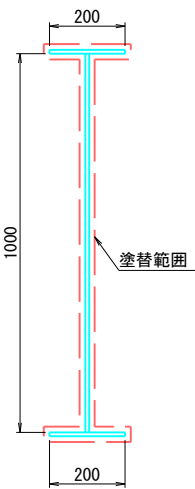
中間部



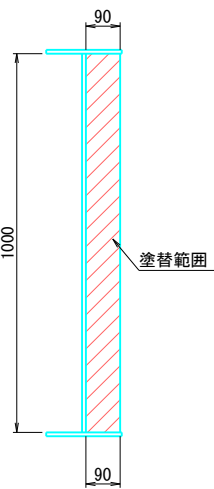
端部



A - A S=1:10



B - B S=1:10



塗装塗替工数量表

名 称	規 格	塗装部位	面 積 (m2)
塗装塗替工	鋳転換型防食塗装	主桁・対傾構・分配横桁・下横構・伸縮装置・防護柵	721.8
素地調整工	1種ケレン(循環式プラスト工法同等)	主桁・対傾構・分配横桁・下横構・伸縮装置・防護柵	721.8

塗装塗替工塗装仕様(鋳転換型防食塗装)

塗装工程	塗 料 名	標準使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	1種ケレン(循環式プラスト工法同等)	-	4時間以内
脱脂洗浄	塗装前処理、脱脂洗浄剤	50	
下塗り	鋳転換型特殊エポキシ系下塗り	250	1日~10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗り	170	
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	140	1日~10日

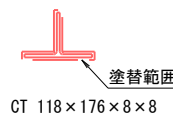
①仕様評価

※鋼道路橋防食便覧に則り公的機関(第三者機関)の手による(試験片作成~評価まで) 耐久性が明らかな他の防食法(従来工法)との比較試験(例:複合サイクル及びCASS試験)の報告書を提出すること。

◎鋼道路橋防食便覧参照(1-16(1))

※黒鋳転換を証明する事の出来る書面を提出すること。

下横構詳細図 S=1:10



注記)

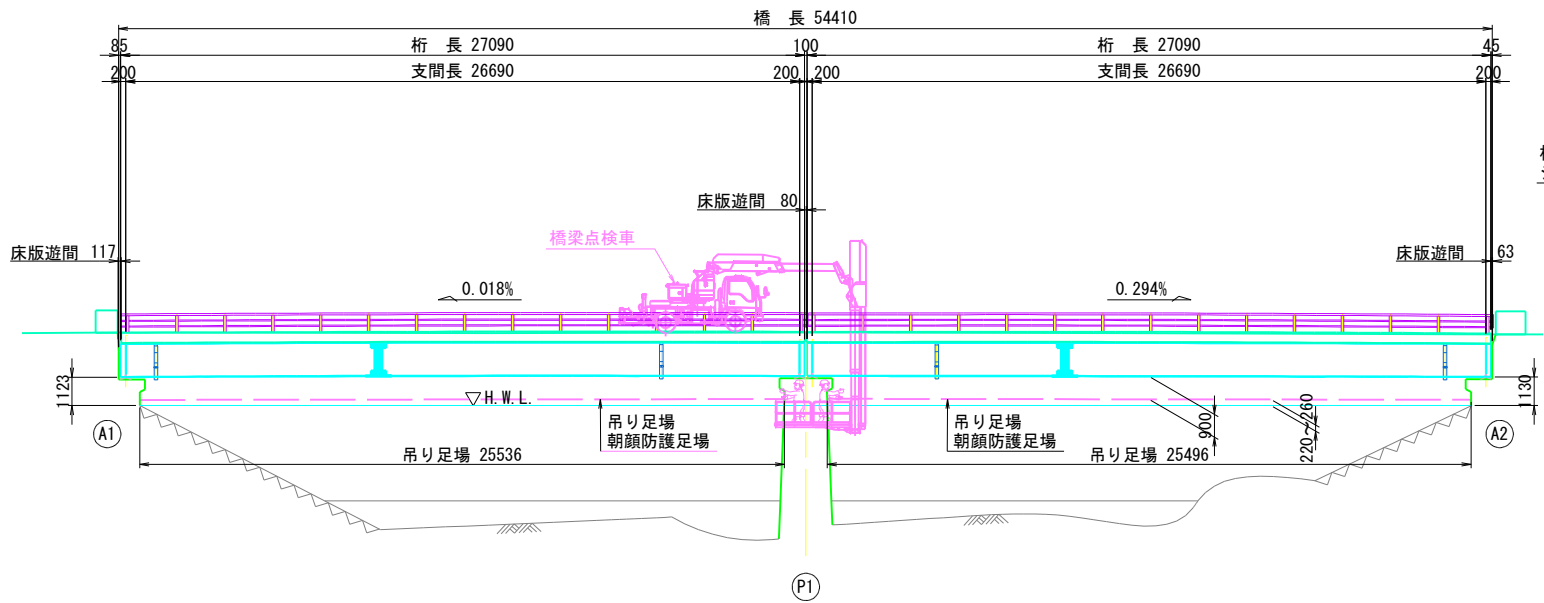
- 施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び寸法・数量を確認の上行うこと。
- 塗装塗替えは鋳転換型防食塗装(NETIS:CB-170003-VR)を想定しているが、同等品以上の性能であれば監督員と協議の上、施工承諾できるものとする。
- 塗膜中に基準値を超える有害物質(鉛、PCB)が含まれているため、塗膜かき落としの際は、旧塗膜の飛散防止、作業員への安全対策を施した上で施工を行うこと。
- 部材角部は、面取りが行われていない場合は、半径2R以上の曲面仕上げを行うこと。
- 素地調整は1種ケレンとし、残存さびが残らないように十分素地調整を実施し、鋼材面を露出させた上で塗装すること。

〈中落合橋〉 実施

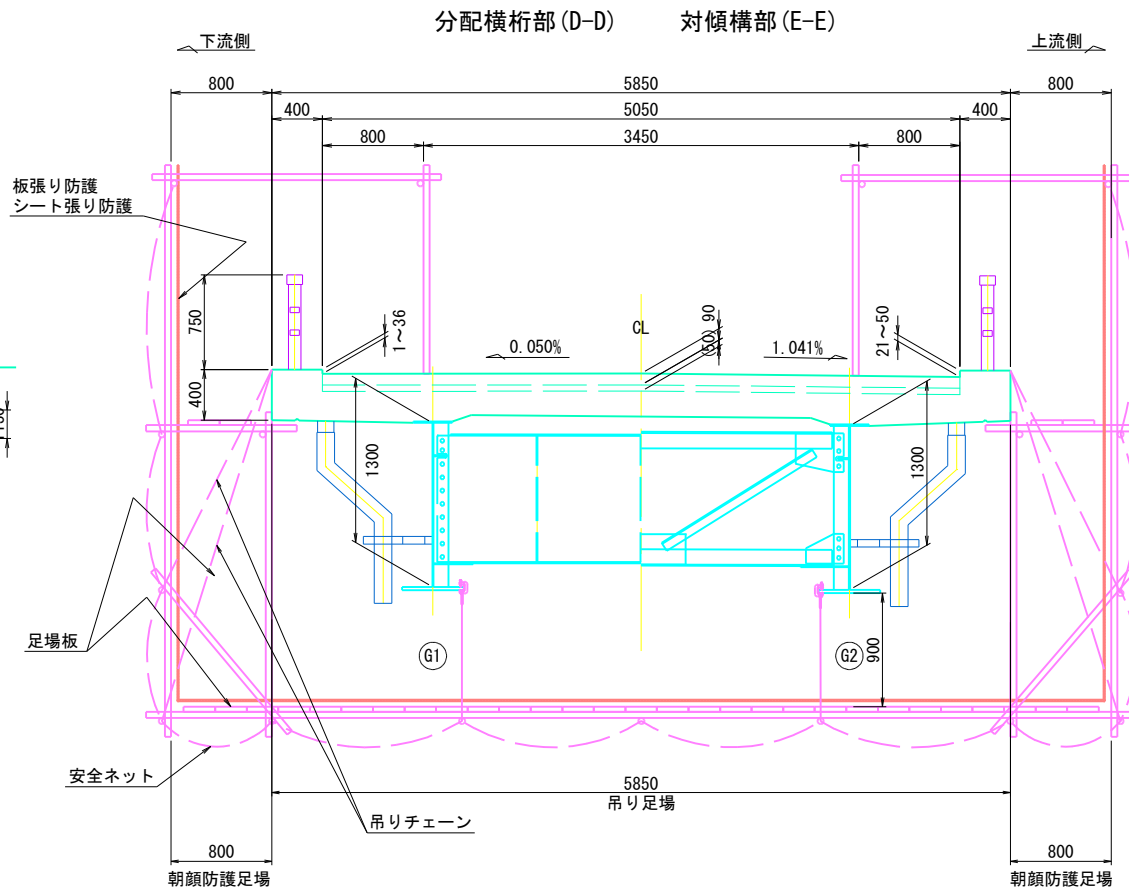
工 事 名	橋梁補修工事		
図 面 名	塗装塗替図(その2)		
作成年月日			
縮 尺	図示	図面番号	4 / 19
会 社 名			
事業者名	上三川町 都市建設課		

施工計画図(参考図)

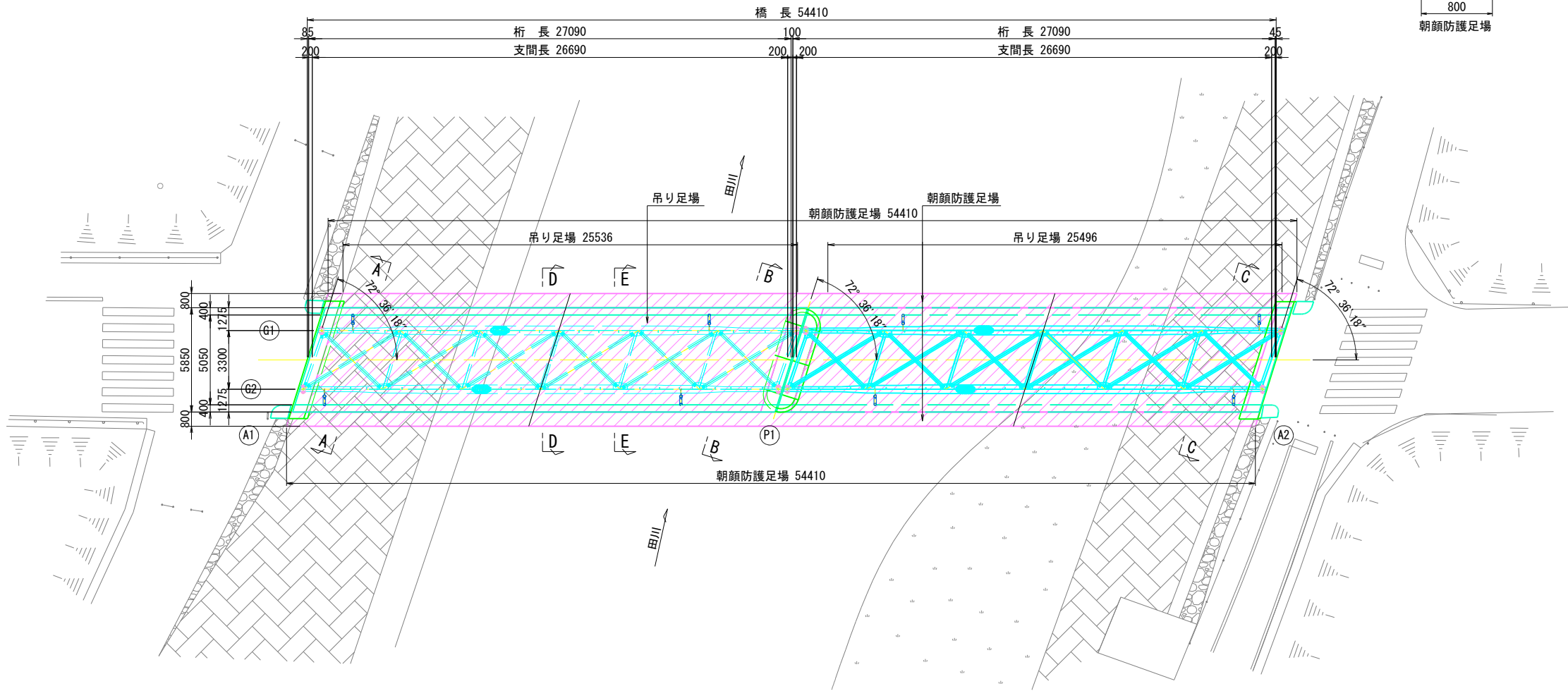
側面図 S=1:150



標準断面図 S=1:30



平面図 S=1:150



足場工数量表					(1式当り)
細目	幅(m)	延長(m)	面数	面積(m2)	備考
吊足場	5.850	25.536	1	149.4	A1~P1 タイプA3
	5.850	25.496	1	149.2	P1~A2 タイプA3
	吊足場 合計			298.6	
朝顔防護足場	0.800	54.410	2	87.1	タイプE 板張、シート張
床面シート張り防護	吊足場と同様			298.6	
プラスト用養生シート	吊足場と同様			298.6	

- 注記)
- 本図面は、現地計測結果を基に復元したものである。施工に当たっては現地を確認し、必要に応じて寸法計測を実施すること。
 - H.W.L.は護岸と橋台が接する位置と推定し、足場はH.W.L.に干渉しないように計画している。施工に先だって河川管理者と協議を行い、施工時期等について調整を行うこと。
 - 橋梁点検車での施工は、橋脚を想定している。

＜中落合橋＞【参考図】

工 事 名	橋梁補修工事			
図 面 名	施工計画図(参考図)			
作成年月日				
縮 尺	図示	図面番号	19 / 19	
会 社 名				
事業者名	上三川町 都市建設課			